

歴史散歩

文——多古町郷土史の会

阿修羅山福寿院西徳寺

本三倉二七二番地にある真言宗室生派の寺です。寺宝として、町内でも数少ない「大般若経」を所蔵しています。また、境内にある六地藏は、



西徳寺本堂



土中から掘り出された六地藏

昭和五十一年に地藏堂境内の清掃をしたときに掘り出され、翌年、現在地に安置されたものです。当地区ではいつからともなく「地藏が土中に埋められている」と語り継がれてきました。いつの時代にどういう理由で埋められたのか知る人はありません。

文明年間（一四六九〜一四八六）には、本三倉地区は千葉氏の一族木内七郎正胤の居城であったとする一文が伝えられています。集落はその城跡に造られたといわれ、当寺の山門辺りの竹まいは、それを裏付けるような雰囲気を出しています。

◆第15話◆



側高神社拝殿

側高神社

本三倉八一五番地に祀られている地区の鎮守で、長徳三年（九九七）創建との伝承があります。

毎年一月の第二日曜日に当社で行われる「本三倉のおびしや」は、古式にのっとった行事として有名です。この神事は、本殿での儀式から始まり、続いて隣接する青年館で、式次第に当たる番付に従って宴が進められます。一番の御雑煮餅から始まり、七番の御頭渡まで続く番付の中でも、特徴的なのは四番の未那板です。袴を付けた若者が、活き作りの大鯉を乗せた「まな板」を捧げながら舞を奉

納します。

古い歴史を偲ばせる当地区には「天正拾九辛卯（二五九二）霜月十三日、下総国香取郡千田庄三倉村御繩打水帳」（太閤検地帳）が残されていました。



おびしやの未那板。両親が健在で未婚の男子が舞うという決まりがある



多古中央病院から

外科病棟 今昔

文／国保多古中央病院 三階病棟

多古町の皆さん、こんにちは。今回は、三階病棟を紹介いたします。筆者、偶然にも10年ほど前に、職場紹介をしました。当時は、整形外科混合病棟として、両科とも手術を含め専門治療を行っていました。

現在は、病院内諸事情により、内科領域、特に急性期治療を終えた脳血管疾患の患者様も外科病棟で受け入れ、リハビリ等を行っています。また、療養型病棟の入所を希望される患者様も年々増加傾向にあり、対象の方がメテイカルチエックで短期間入院していただく病棟でもあります。患者様の年齢層は、限りなく高く、90歳代の方も珍しくありません。多古町の高齢化率27.7%に合致します。ADL（日常生活動作）の自立している患者様は、ごくまれです。近年、認知症を合併されている患者様も顕著に増加しています。



ご存じですか？

それでは、病棟関係者を紹介します。筆頭は、血管系の外科処置や手術全般において敏腕の小久保院長。地域に根差した在宅医療を推進、自ら訪問診療を積極的に行う藤崎副院長。内視鏡治療のスペシャリスト市川外科医長。以上3名の医師たち。毎週火曜日は、筑波より生芝医師が訪れ、入院中の患者様の治療経過を確認。指示に基づき外科医師が管理をします。整形領域のアトバイスで、力強い援軍です。看護職員は、全部で20名。看護師17名（うち男性2名）、看護助手3名です。院内の男性看護師3名のうち2名が、当病棟に所属。1名は、主任看護師で師長とスタッフのパイプ役とし

- ① 大活躍。時には、独身看護師を相手に、父親的立場？から意見し、逆襲に遭うことも。看護助手3名は、まさに「縁の下」の力持ち「頼り」になる存在。看護業務は二つあります。医師の指示に基づく業務と療養上の世話です。医師の指示に基づく業務には、病院で見かける光景として、点滴・酸素吸入・各種検査・手術などが挙げられます。療養上の世話では、食事・清拭・入浴・排せつに関すること、日常生活を営む上で欠かせない事柄です。近年、病棟では、療養上のお世話で、お手伝いが必要とする患者様がとて多くなりました。皆様が快適に療養できますよう、今後も職員一丸となって取り組んでまいります。
- ② 安全の観点から、ご家族とご面会者に次のお願があります。
 - ① ご高齢の患者様は環境に慣れるまで時間がかかります（できるだけ、そばにいてあげましょう）
 - ② 手術直後の面会は苦痛のようです（ご家族に様子を確認してからにしましょう）
 - ③ 消化器系の手術後、患者様に食べ物の見舞いは避けましょう
 - ④ 食中毒防止上、生ものや煮物類の持ち込みは避けましょう
 - ⑤ 大勢での面会は、患者様が疲れます（配慮いたします）
 - ⑥ インフルエンザの流行が懸念されます（熱・せき・くしゃみなどの症状のある方とお子様は面会できません。ご理解・ご協力を、お願いいたします）

追跡レポート！——この職業・この人たちの24時間

あなたの愛車を任せて安心
自動車整備工場の一日
紹介者：伊藤真人さん（広沼）

私たち多古町自動車組合には、現在23の工場が加盟し、車検や定期点検、修理、保険業務や新・中古車販売など、幅広く車に関することを取り扱っています。

当社は、朝8時から夕方5時30分までの営業。急な故障などは、時間外や休日でも、また事故が起きた際のレッカーサービスは、24時間体制で対応しています。関東運輸局の指定工場（民間車検場）となっており、メカニックは検査員2名を含む全員が、国家資格を持った整備士です。豊かな経験と確かな腕を持って、軽自動車から大型特殊自動車まで、すべての車検や点検修理を行っています。

車検は一定期間ごとに国が行う検査で、安全面や公害防止面がその時点で基準に合っているかを検査しますが、次の車検まで安全性が保証されるものではありません。しかし中間で12ヶ月点検を行



取材協力：多古町自動車組合